

まだまだ夏の暑さが残る日々ですが、子どもたちは暑さに負けず元気いっぱいです。

4月進級・入園して、あっという間に2学期が始まりますね。1学期を終えて身も心もその子なりに成長した姿が見られます。1学期の年少組は、廃材遊びやごっこ遊びに夢中でした！

自由遊びの時間には「廃材やっていい？」と毎回のように聞いてくれ、自分なりのイメージをふくらませて作ることを楽しんでいます。様々な素材に触れながら、ハサミやテープなどの道具の使い方を覚え、自分なりの見立てや遊びを見つける姿が見られます。小さなカップに花紙や折り紙を入れてジュースを作ったり、空き箱をテープでつなげていく中で「○○みたいになった！」と、偶然の形から見立て遊びへ広がることもあります。廃材遊びで作ったものは「ママとパパに見せたい！」と、子どもたちは口を揃えて言います。ご家庭でも是非「どうやって作ったの？」と作る過程を聞いてみてください。作ったことを認めもらえると、また挑戦したい気持ちが育ちます。見た目や形だけでなく、「作った時間の楽しさ」も一緒に味わっていただけたら嬉しいです。

ごっこ遊びでは、子どもたちの大好きなおままごとを中心に色々なものになりきって楽しんでいます。保育室にあるエプロンや三角巾を身につけ、友だちと役割を分け合って「いらっしゃいませ！」とお店屋さんごっこをしたり、「ごはんできたよ！」とお母さんになりきったり…。やり取りをしながら遊びが広がっていきます。最近では、保育者の手を借りながら折り紙や画用紙、キラキラテープなどを使ってブレスレットや指輪、冠などのアクセサリー作りにも挑戦しています。自分で作ったアクセサリーを身につけ、「見て！」「かわいいでしょ？」と嬉しそうに見せ合う姿も見られます。また、廃材遊びで作ったアイテムをおままごとに取り入れて遊びが盛り上がることもあります。ジュースやバッグなど、子どもたちの発想はどんどん広がり、遊びの世界はますます賑やかです！

1学期は、子どもたち一人ひとりの「好き」や「やってみたい！」という気持ちを大切にしながら、遊びを深めてきました。廃材遊びやごっこ遊びを通して、友だちと関わりながらイメージを広げ、形にしていく経験を沢山積んできた子どもたち。10月に行われる新渡戸祭では、この1学期に子どもたちが夢中になってきた遊びの世界をそのままに、作品や写真などで展示したいと考えています。当日は園での遊びの中から生まれた「子どもならではの発想」を是非おうちの方にも見て感じていただけたら嬉しいです。



2学期の目標

- ・自分の思いと相手の思いの違いに気づくとともに、友だちと関わる中で色々な友だちの良さを知る。
- ・新しい遊びや活動に興味を持ち、「やってみよう」とする。

